



おすすめ児童書12月



啓林堂書店 外商部

担当 蔵田・長谷川・前田・森川

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上

	<p>くるみ割りにんぎょう</p> <p>原作 E.T.A.ホフマン 再話 アンマリー・アンダーソン 絵 アリソン・ジェイ 訳 蜂飼耳 ¥1,760</p> <p>チャイコフスキー作のバレエの曲としても有名な「くるみ割り人形」。 この絵本はバレエのおはなしに沿ったものです。 お菓子の国のパーティでのひとときはうつとりするぐらい素敵で、 いつまでもこの世界に浸りたいと感じさせられます。 絵は独自の手法により、絵全体にひび割れが入っており、 懐かしく温かい雰囲気が感じられます。</p> <p>ISBN 978-4-19-863484-1</p> <p>徳間書店 : 2012年 発売</p>
	<p>100にんのサンタクロースの12かけつ</p> <p>作・絵 谷口智則 ¥1,760</p> <p>100にんのサンタクロースの待望の続編。 前作の100にんのサンタクロースたちが全員登場し、 クリスマスイブが終わってから次のクリスマスまでの一年間がカラフルに 楽しく描かれています。 前作を読んでいる人も、そうでない人も楽しめます。 100にんのサンタクロースは個性的で一人ひとり名前があり、 だれがどこにいるか、何をしているのか何度も読み返したくなります。</p> <p>ISBN 978-4-7999-0575-3</p> <p>文溪堂 : 2025年 発売</p>

▽ 小学生以上

	<p>もしも、ぼくがサンタクロースとともにいたら…</p> <p>作 富安陽子 絵 YUJI ¥1,320</p> <p>サンタクロースとともにいたら想像せずにいられなくなります。 一緒にどのようなことをしようか、サンタクロースの暮らしってどんなだろうか、 トナカイってどのような感じかといろいろと自分なりに考えて、 楽しい気分になります。 クリスマスが待ち遠しくなる物語です。</p> <p>ISBN 978-4-7743-1681-9</p> <p>くもん出版 : 2009年 発売</p>
	<p>どうぶつたちのおひっこし どうやってはこぶのかな?</p> <p>作 平山暉彦 ¥1,320</p> <p>表紙に描かれている動物たちを遠くの動物園までどうやって運ぶのでしょうか？ 首の長いキリンは？大人10人分の重さのアシカは？臆病なコアラは？ 飼育係の人たちがいろいろな工夫をし、動物の性格や習性、 心地よい環境を考えて運びます。 普段見ることのできない仕事の様子や動物それぞれの個性を見て取れて、 純粋な驚きに出会えます。</p> <p>ISBN 978-4-8340-8880-9</p> <p>福音館書店 : 2025年 発売</p>